

【衣里地区の農用地等面積】 364.8 ha

うち 【田】 308.0 ha 【畠】 54.6 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 352.4 ha)

- ・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 47.7ha
- ・衣里地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 87.2 ha
- ・主な生産品目：水稻、りんどう、花卉、肉用牛

(令和7年8月 26 日現在)

地域農業の課題

1. 農地・圃場・インフラの課題

- ─ 小区画・未整備圃場の多さ(張巾、富田、川西、滝の沢、川東、瀬原)
- ─ 圃場・水路等の老朽化(張巾、川東)
- ─ 傾斜地・法面広大・河川沿いなど耕作困難地の存在(富田)
- ─ 水利環境が悪い圃場(川西、滝の沢、川東)

2. 担い手・人材の課題

- ─ 農業者・地主の高齢化、管理作業困難な圃場の増加(寺向、川東)
- ─ 後継者不在による不在地主農地の増加(地域全体)
- ─ 若手農業者は一部いるが全体的に後継者不足(張巾)

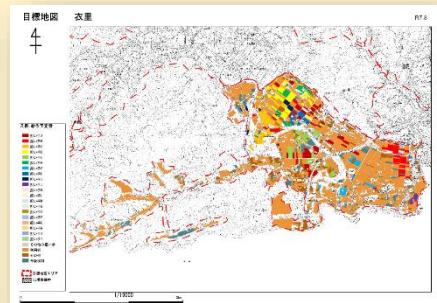
3. 経営・集積の課題

- ─ 一部でしか進まない農地集積(寺向、富田、張巾)
- ─ 未整備や獣害が多い圃場は集積が進んでいない(寺向、川西)
- ─ 小規模圃場が多く、効率的な営農が困難(地域全体)

4. 有害鳥獣・自然被害

- ─ イノシシによる獣害の広がり(張巾、富田、川西、川東、瀬原)
- ─ サギやカモ等の鳥害(瀬原)

衣里地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょう。

地域農業の方向性

1. 農地の集積・集約と担い手確保

- 担い手経営体への集積を推進(寺向、張巾、富田、川西、滝の沢、川東、瀬原)
- 不在地主農地や経営困難農地の集約促進(張巾)
- 離農・規模縮小の際は近隣農家や委託作業で対応(張巾、富田、川西、滝の沢、瀬原)
- 若手・多様な担い手の育成と法人化の推進(張巾、富田、川西、川東、滝の沢、瀬原)
- 近隣集落との連携強化(寺向)

2. 基盤整備と営農環境の改善

- 基盤整備の積極的推進(全域・特に張巾、富田、川西、川東、瀬原)
- 区画拡大による効率的な農作業環境の整備(張巾)
- 水利環境の改善(川西、川東)
- 未整備圃場の基盤整備と老朽化対策(張巾、川東、瀬原)

3. 多様な営農・作目展開

- 水稻中心+花卉・畑作の推進(滝の沢、他全域)
- 肉用牛(肥育・繁殖)の安定生産(富田)
- 畑作への転換による多様化(川東)
- ウマ・ヤギ・ニワトリ等の多様な動物飼育(富田)

4. 持続的な農地・施設管理

- 多面的機能支払・直接支払の活用(寺向、張巾、富田、川西、滝の沢、川東、瀬原)
- 土地所有者と担い手が共同で水路、畦畔など保全管理(張巾、富田、川西、滝の沢、瀬原)
- 地域組織による維持・保全活動の継続(全域)

5. 有害鳥獣・スマート農業対策

- イノシシ・サギ・カモ等への対策強化(張巾、富田、川西、川東、滝の沢、瀬原)
- 電気柵・罠・鳥害ネット等の導入(張巾、富田、川西、川東、滝の沢、瀬原)
- ドローン・GPSトラクター等スマート農業技術の導入促進(張巾、富田、川西、川東、瀬原)

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記 QR コードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室 (TEL 0197-34-2371)

